



令和6年度 学校説明会

SHIMOSAKUNOBE PRIDE において



今年度の取組

下作延小PRIDEから SIMOSAKUNOBE PRIDEへ

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の
理念を基盤とした

地域と一体となった学校の創出



今年度の取組

下作延小PRIDEから SIMOSAKUNOBE PRIDEへ



みんな ワクワク
地域と一体となった学校へ



学習

地域資源開発
企業・行政の活用
学習ボランティア募集

防災・防犯・交通安全

町会の見守り活動
避難所開設運営委員
見守り活動ボランティア

環境

栽培ボランティア(花壇管理)
清掃ボランティア(体育館・校庭側溝)
修繕ボランティア(ペンキ塗り)

情報

動画配信 動画作成
イラスト作成
来場者管理



今年度の取組

教科担任制(交換授業)・高学年専科教員による指導

【教科担任制（交換授業）】

- ◇担任が学年内の教科を担当しあい、学年児童の理解、学習状況の把握を通してすべての教科指導に生かします。

【高学年専科教員による指導】

- ◇体育、外国語、音楽での専科教員による指導の実施
体育（4～6学年） 外国語（3～6学年） 音楽（3～6学年）
- ◇専門的な指導による学習内容の充実を図ります。

今年度の取組

川崎市制100周年記念行事への参加と地域愛の育成

- ◇ 「SIMOSAKUNOBE PRIDE」 (自分を大切に思い、他者を認め、学校・地域・川崎を大切に思う子の育成) の具現化のために、市制100周年の記念イベントに取り組みます。
- ◇ 「キャリア在り方生き方教育」の視点の一つである「わたしたちのまち川崎」の取組を充実させながら、市制100周年に向けた教育活動を実施していきます。
- ◇ 市制100周年の取組において、地域と連携した様々な教育活動を行い、「学校 e～ね★ サミット」で全市小学校に発信するとともに、地域への発信も積極的に行っていきます。

今年度の取組

全国都市緑化フェアかわさきへの参加と環境教育の充実

みどりで、つながる。
みんなが、つながる。
みどりとゆめが、つづくまち。
みんなが、最幸 下作延。



Green For All
KAWASAKI
2024

- ◇かわさきフェアの統一主題である『みどりで、つながる。みんなが、つながる。』に向けて、花や植物を育てる取り組みを全校で進めます。
- ◇子ども達が、花やみどりの楽しさ・大切さを知り、植物を慈しみ大切に作る気持ちを育てます。
- ◇子ども達が育てた花などが、地域の方のためになることに喜びがもてるよう取り組みを進めます。

学習指導・教育課程

①基礎・基本の確実な習得と活用する力・互いに高めあう子どもの育成

- ◇全ての教科を通して学びの意欲を高め、「わかる」「できる」「楽しい」を実感じ、共に学び合う児童を育てます。
- ◇既習経験を生かし、意欲をもって学べるよう授業を工夫します。また、互いの考えや思いを交流することを大切にし、友だちのさまざまな考えを知り、そのよさや違いのわけを考えることで、よりよい学び合いが生まれ、成長しあえることをめざします
- ◇朝の短時間学習等を通して、基礎・基本的な問題に繰り返し取り組んだり、60分授業に取り組んだりすることで、知識・理解のさらなる定着につなげます。

◇『何を学ぶか』『どのように学ぶか』を重視して、主体的、対話的で深い学びを視点にした授業改善を意識して進めます。

◇川崎市学習状況調査の結果を分析し、各学年で身に付けたい力を明らかにし、意識して指導にあたります。

4 質の高い教育を
みんなに



下作延小

学習指導・教育課程

②個に合わせた支援の充実

- ◇少人数指導（全学年35人以下学級編成）、学校サポーターによる支援や学習センターを活用した指導や支援等を行います。
- ◇教科担任制による指導内容の充実を図ります。（3年生以上では、授業交換をして指導力の向上を図ります。）

◇少人数指導のよさを生かし、これまでもより計画性をもって子供の「わかる」「できる」姿が見られるように支援を充実させていきます。

◇指導人数の体制にとらわれるのではなく、それぞれの学級内で有効な支援方法を考え、日常につまづくことが少なくなるような指導を進め、職員同士、よりよい指導方法を積極的に共有します。

◇担当する教科の教材研究をさらに充実させて、児童にとってよりよい授業をめざしていきます。

◇学びの個性化・個別化を意識した学習活動を進めます。

4 質の高い教育を
みんなに



下作延小

学習指導・教育課程

③防災・防犯教育の充実

- ◇避難訓練・防犯訓練の想定ややり方を工夫したり、自分の身を守るための指導を行ったりします。
- ◇保護者と共に学び、地域とつながる防災教育を工夫し実践します。
- ◇有事の際を想定し、西高津中学校と連携した訓練を実施する。

◇地震・火災の他、洪水や台風等の避難も視野に、朝会の活用やカリキュラムを再考し、より充実した防災・防犯教育に取り組んでいきます。

◇防災教育を通して、備える大切さを保護者とともに考え、地域に発信し、有事の際児童の安全確保はもとより、避難所となる学校施設を有効に活用できるよう、地域住民の避難所利用の理解を進めます。

◇保護者・地域・西高津中学校等との合同訓練の計画などを盛り込んだプログラムを作成し、指導に組み込んでいきます。

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



学習指導・教育課程

④情報教育の充実

- ◇一人ひとりが一台のGIGA端末を利用しながら、機器の操作方法を系統的に指導し、学習において適切に活用できる力と態度を育成します。
- ◇発達の段階に合わせて系統的に情報モラル教育を進め「適切なコミュニケーション」の力を育てます。
- ◇教職員がGIGA端末を学習において適切に活用できるよう、研修を行い、児童にとって学習中GIGA端末を適切に授業に生かし、活用できる力と態度を育成するようにします。
- ◇情報モラル教育を全学年において行い、外部講師などを招いての指導を行うとともに家庭と連携をしていく。また、配信システムなどを活用することを通して、情報モラルの向上に向けての資料・情報を保護者向けに配信していきます。
- ◇児童の情報モラルを高めるために、引き続き情報モラル教育について、保護者と共に学ぶ機会・時間を増やしていきます。



学習指導・教育課程

⑤健康教育・運動する子ども

◇日々の体育授業や養護教諭・学校栄養士による健康に関する授業や日常的な衛生管理への意識を高めるなど、健康や体力に関心をもつ児童を育てます。

◇年間を通して特別活動におけるカリキュラムを健康教育に関する視点から見直し、衛生指導、歯磨き指導・食育・保健・給食などの教育活動を引き続き充実させていきます。

◇運動の楽しさを体験することによって、体力や運動への関心をより高めるようにします。（キラキラタイム・キラキラチャレンジの充実）

◇拡大学校保健委員会などの開催を通して、保護者とともに児童自身が自分の健康について意識し考える機会を設けます。

3 すべての人に
健康と福祉を



下作延小

特別活動

⑥主体的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

- ◇委員会活動・クラブ活動、係活動その他の活動において、児童の発想や意欲を生かした活動に取り組み、児童自身が「楽しい学校」を創造できるよう指導します。
- ◇運動会やかがやき交流DAYなどを含めて、全ての学校行事において、児童の発想を大切に活動が進められるようにします。
- ◇さまざまな学校行事を通して協働することの大切さ、連帯感・自己有用感・自己達成感を高めていける指導を行います。
- ◇SDGsにかかわる学習活動に意識を向けさせた指導を行っていきます。

◇児童の創造性を大切にし、児童の発想を生かし意欲を高めることができるような指導を丁寧に時間をかけて行いながら、学校行事の内容を精査し、児童の自己有用感を高める効果的な実施時期を検討しながら指導を行っていきます。

◇学校内における学習活動について、SDGsの何にかかわっているのか児童が意識できる指導を継続していきます。



保護者・地域との連携

⑦地域に愛着をもてるような教育活動

- ◇学校教育目標に即し、目的をもって地域に出かけ、地域のよさを実感できる教育活動を取り入れ、指導を行います。
- ◇積極的に地域の教育資源を開発し、地域の人材・地元企業と連携した教材開発・授業開発を進めます。
- ◇生活科・総合的な学習の時間・社会科の学習、学校行事等で地域の「人・もの・こと」との出会いやふれあいを通して地域を愛する気持ち、感謝の気持ちを育てます。

- ◇日頃から「SIMOSAKUNOBE PRIDE」「かわさきPRIDE」を意識した学習活動に取り組んでいきます。
- ◇これまでの成果を生かし、低・中・高学年ごとや学校全体での地域のかかわりを計画していけるカリキュラムを作成し、実践していきます。
- ◇コミュニティ・スクールのサポート部門の協力を得ながら、地域・保護者の方のさらなる学校サポート体制の充実をめざします。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



児童支援

⑧一人ひとりが命の重さや価値を実感し、他者を思いやる気持ちをもつ
◇年間の教育活動。(人権週間の場や、子どもの権利学習、SOSの出し方・受け止め方教育実施、学校行事における教育活動)を通して、児童自身が自分も相手も大切にできるように努めていきます。

◇美しいもの、素晴らしいものにであったり、感動したり、生き生きと生活する大人に触れたりして、心が豊かになる時間を過ごすことができる機会を計画的につくります。

◇人にやさしくしたり、役に立ったりした時に自分の心も豊かになることを実感できる教育活動の充実を図ります。

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



児童支援

- ⑨共生・共育の実施、コミュニケーション力の育成、いじめを許さない学校風土
- ◇各学年6時間の「共生＊共育プログラム」を行い、社会性のスキルの習得に努めます。
- ◇「学校生活アンケート」を実施し、一人ひとりの思いをくみとることで、いじめの防止に努めます。
- ◇教職員はいじめ防止委員会を計画的に開催し、教職員で課題を共有しながら、いじめ防止・問題解決に努めます。
- ◇支援教育コーディネーターを中心に、児童の心に寄り添ったチーム支援を行います。

- ◇運営委員会による呼びかけだけでなく、児童自身がよりよい学級や学年、学校を創ろうという意欲を持続できるようにしていく。
- ◇教職員も継続して取り組み、子供とともに居心地のよい学校、学年づくりを推進していきます。
- ◇いじめ防止について、研修や会議等で教職員で共通の認識をもつ機会を設け、児童の情報を共有することを継続していきます。
- ◇支援教育コーディネーターを中心に、学校巡回カウンセラーをはじめ広い視野での連携を図ることで保護者の不安にも寄り添えるようにしていきます。



児童支援

⑩皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

- ◇掲示物や全校ミーティングなどで、児童自身が気持ちよく過ごすことができる学校生活のルール作りについて考える機会を設けます。
- ◇クラスでの生活目標や個人での「生活ふり返りカード」を通して、規範意識の育成に努めます。

◇児童達自身が、互いに気持ちよく過ごすためのルール作りや意識づくりに引き続き参画できるようにします。

◇他者に対する感謝の気持ち、ルールを守って生活することの大切さを継続して指導していきます。

◇落ち着いて生活を送るために、自分を制する気持ち、我慢をする経験等についてはさらなる成長が必要と感じているため、社会生活に必要なスキルを育んでいく指導を進めます。



安全安心な環境

⑪危機管理・施設の整備

- ◇心肺蘇生法・AEDやアレルギー、熱中症防止等の研修、学校安全マニュアルを活用します。
- ◇地域の安全見守り、避難所運営会議、PTAと連携し児童の安全確保を図ります。
- ◇交通安全教育、薬物乱用防止教育等を実践し、安全に対する意識向上をめざします。
- ◇教育委員会、地域、保護者と協働し、学校施設設備環境の改善に努めます。

◇川崎市より示された防災対策指針に沿った、学校安全マニュアルの更新に取り組みます。

6 安全な水とトイレ
を世界中に



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



保護者・地域との連携

⑫学校評価を生かした教育の改善・情報発信

- ◇学校・学年だよりにおいて教育方針や児童の様子を保護者・地域の方々にお知らせしたり、随時ホームページを更新したりします。
- ◇保護者向けの手紙、調査結果等メールによる配付をします。紙文書の削減のために、ミマモルメやホームページによる文書配付を進めます。
- ◇学校運営協議会（コミュニティ・スクール）でのご意見や保護者アンケートを学校改善に役立てていきます。

- ◇児童の学習活動の様子にあわせて、学校として、その教育活動にどんな思い願い、ねらいがあるのかを保護者に丁寧に伝えていくことをこれまで以上に進めていきます。
- ◇学校評価では、中間報告を取り入れ、PDCAの4つのサイクルを通り、らせん状の評価を行い、改善すべき点は即時改善が図れるようにします。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

